

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ご家族様への介護計画の説明や話し合いをする機会が十分ではない。	介護計画の説明、ご本人の日頃の様子を十分に伝え、理解・協力を得る。	ご家族様が参加できる行事の実施や施設へ足を運びやすくなる工夫をする。	ヶ月
2		地域の方々との交流を充実させる。	近隣の方、地域の方々との交流できる機会を増やす。	近くの小学校の運動会への参加や地域で行われるイベントに参加する。	12ヶ月
3		同業者との交流の機会を増やしていく。	他施設の見学や交流を積極的に行っていく。	同業者の人脈を広げ、介護職員が他施設の方々と交流する機会を確保する。交流会などへは積極的に参加を行う。	12ヶ月
4		グループホームでの入居者様の活動報告をご家族様へしっかり伝わるようにする。	日頃の様子や行事の報告などが、ご家族様へとしっかり伝わるようにしていく。	毎月送付しているおたよりをよりわかりやすく作成していく。ご家族様が面会に来られた際には、管理者・ケアマネージャーを中心にご家族への報告を行う。	12ヶ月
5		介護職員の研修への参加をしていく。	介護職員が認知症や介護に関する研修に参加できる機会を確保する。	研修の実施予定を積極的に取り込み、参加を促していく。施設内での研修も実施する。	12ヶ月